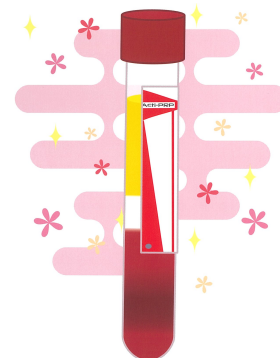




多血小板血漿 (PRP) 療法について

● PRP療法とは

- 血小板には細胞を増殖させる**成長因子**が含まれています。ご自身の血液から抽出した血小板を多く含む血漿 (**多血小板血漿 platelet-rich plasma; PRP**) を局所に注入し、自分の体が持っている再生能力を促す再生医療です。
- 自己血を用いるのでアレルギー反応等の心配がなく、重篤な副作用は報告されていません。安全性が高い治療です。
- PRP療法は「**第二種再生医療**」です。当院は再生医療等の安全確保等に関する法律に基づき、認定再生医療等委員会の審査を経て、厚生労働省に再生医療等提供計画を提出し、受理されています。
- 治療に際しては「**細胞提供に関する同意書**」と「**再生医療の実施に関する同意書**」が必要です。

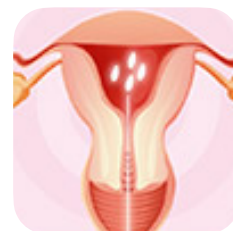


● 適応と方法

- 生殖補助医療 (ART) では、子宮内腔に注入して着床を促す治療と、卵巣に注入して卵胞発育を促す治療が行われています。PRP療法を行う周期の治療はすべて保険適用外です。

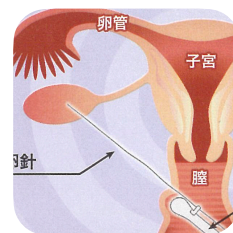
● 子宮内膜のPRP療法

- 子宮内膜の増殖や血管新生を促進し、着床率の向上や妊娠の維持を期待します。有効性についてはエビデンスレベルが高く、当院でも40%以上の妊娠率が得られています。
- 適応は**子宮内膜が薄い着床障害**と**反復着床不全** (2回以上の胚移植で妊娠不成立) です。
- 効果が持続する可能性がありますが、持続期間は分かっていません。そのため、ほぼ確実に胚移植できるホルモン補充による凍結融解胚移植周期に行います。通常は胚移植前に2回投与しますが、どうしても都合がつかない場合は、2回目を省略できます。1回だけでもある程度は効果を期待できます。
- 子宮内腔の手術 (内膜搔爬術や子宮鏡下手術) の影響で子宮内膜が薄い方は、ARTを受けていなくても、希望があれば自然の月経周期に実施できます。



● 卵巣のPRP療法

- 卵巣組織内の血管新生を促進し、卵胞の発育促進を期待します。投与プロトコルや治療の有効性はまだ確立されておらず、研究的な治療です。
- 適応は**卵巣予備能低下** (高用量卵巣刺激で採卵数が2個以下)と**早発卵巣不全** (40歳未満の高FSH血症を伴う無月経) です。
- 通常は、採卵を希望する周期の前の周期に、両側卵巣に投与します。採卵したのに卵子を採取できなかった、あるいは移植キャンセルとなった場合は、採卵後に行うこともできます。効果を高めるために、希望があれば追加投与することも可能です。
- 卵巣が萎縮していると、穿刺が極めて難しくなります。そのような場合は、卵胞が発育した周期で採卵した際に、同時にPRPを投与します。
- ARTを受けていなくても、希望があれば自然の月経周期に実施できます。



● 治療のスケジュール

	子宮内膜のPRP療法	卵巣のPRP療法
治療計画 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	● 月経4日目までに来院し、凍結胚移植のホルモン補充を始めます。PRP療法は月経周期の10～11日目に1回目、その約48時間後に2回目を行います。月～土曜日の午前9時、または水・木曜日の午後3時に予約します。日曜・祝日は治療できません。 ● 他院で治療している方は、ホルモン補充を始めたら、当院のホームページの「申込フォーム」で申し込むか、「子宮内膜PRP療法申込用紙」をファクスでお送りください。治療日時を電話で連絡します。主治医から診療情報提供書をいただいでください。	● 採卵を希望する前の周期の月経が始まったら受診してください。他院で治療している方は、主治医からの診療情報提供書が必要です。 ● 超音波検査で卵巣の状態を確認して、治療計画を立てます。治療前の卵巣機能を評価するために、採血して下垂体ホルモンとAMH（自費）を測定します。 ● 治療の同意書をお渡しします。 ● 治療は日帰り入院で行います。月～金曜日の午前9時の入院になります。土～日曜・祝日は治療できません。 ● 卵巣が萎縮している場合は、採卵と同時に治療するように計画することもあります。
PRP療法 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	● 直前の食事を控えるか、軽めに済ませて来院してください。水分は摂取してかまいません。 ● 来院したらスタッフに同意書を提出してください。他院から来られた方は診療情報提供書も必要です。 ● 採血（20cc）してPRPを調整します。注入まで約1時間かかります。治療後の安静は必要なく、生活に制限はありません。 ● 2回目の治療を終えたら治療費をお支払いください。 ● 他院から来られた方には診療情報提供書をお渡しします。	● 朝食を軽めに済ませて来院してください。水分は摂取してかまいません。 ● 来院したらスタッフに同意書を提出してください。 ● 採血（20cc）してPRPを調整します。注入まで約1時間かかります。治療後は病棟で静養していただきます。退院後の生活に制限はありません。 ● 退院時に治療費をお支払いください。 ● 他院から来られた方には診療情報提供書をお渡しします。
胚移植または採卵	● 通常の凍結胚移植のスケジュールに従って胚移植を行います。	● 次の月経周期に採卵を計画します。治療後の卵巣機能を評価するために、採血して下垂体ホルモンとAMH（自費）を測定します。

● 注意事項

- 高度の貧血、血小板減少症、活動性の肝炎などがある場合は治療を受けられません。
- 治療周期の月経終了後は非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）の使用を控えてください。
- 治療後に、発熱や腹痛などがあれば病院に連絡ください。